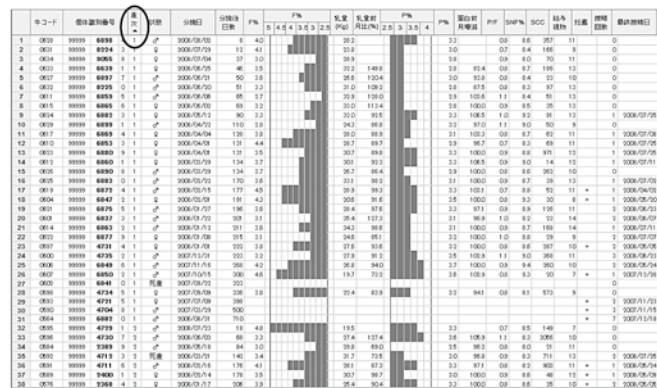
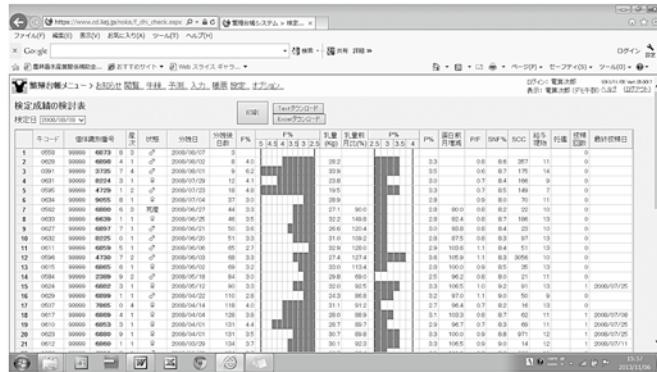


1. 牛群検定データを見てみましょう。

スクリーンにある牛検を選択するとタブが開き色々なデータを図表で見ることができます。その中に「検査成績の検討表」がありますので開いて見て下さい。牛群検定でおなじみの表を見る事ができます。

2. 色々な機能を活用して

インターネットによるオンラインなので表の表示を編集することもできます。表を表示した直ぐでは、牛は単に分娩後の日数順に並んでいます。しかし、初産と経産牛では分娩後日数にふさわしい乳量や乳成分が異なります(初産は通常乳脂肪率が低いが、泌乳の中・後半まで乳量が持続される等)。そのため、乳量や乳成分を比較する時には産次で分けて検討すると牛群の状態が良く分かってきます。今度は画面で産次のところをダブルクリックします。今まで産次が混在していた牛達は産次毎・分娩後日数順に並んで表示されています。これで、乳期が移行するに連れて起こっている乳量・乳成分、他の変化を容易に把握することができます。

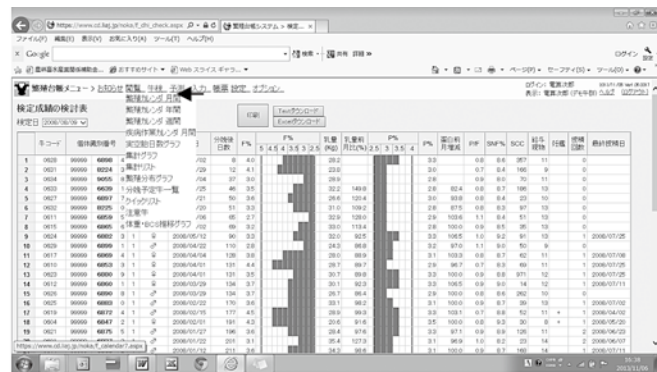


同じ様な「並べ替え」は、牛コード(検査番号)や個体識別番号でも行なうことができますので、便利に使うことができます。乳量や成分について分かりやすくグラフ表示することもできます。

3. 繁殖カレンダーを見てみましょう。

閲覧のタブには繁殖カレンダー(月間・年間・週間)が用意されています。

よく使用されるのは月間カレンダーでクリックすると以下のようなカレンダーが表示されます。牛群検定は、1ヶ月1回ですが繁殖台帳Webシステムでは自分で繁殖台帳に入力する限り、常に最新の繁殖状態が表示され、「発情関係や乾乳・分娩関係を常に前もって意識し、予定して行動することができます」。また、この表示内容はチェックする牛を変更することにより自分で変更することも可能です。



【先取りした作業こそが経営向上の第一歩】

その他、個体台帳の作成段階から今までの牛管理のために出されたシステムとは大きく前進した特徴を持っています。牛による収益向上は、結局、先取りした行動による繁殖改善と事故防止に尽きると言えます。そのためのシステムとしては、携帯電話等でも利用ができ、家でも牧場でも同様の作業が可能であり、是非とも利用をお勧めします。



「チャレンジしましょう 繁殖台帳Webシステム」

広酪事業推進課 係長 大島達夫 (問い合わせ先) ☎ 0824-64-2072

【やってみるとこれは便利！】

「らくのうだより」(No.224、平成24年11月号)で紹介しましたが、ID・パスワードを使って月々の牛群検定情報の確認や繁殖疾病状況の確認や入力が行なえる「繁殖台帳Webシステム」の運用が(一社)家畜改良事業団によって行われています。

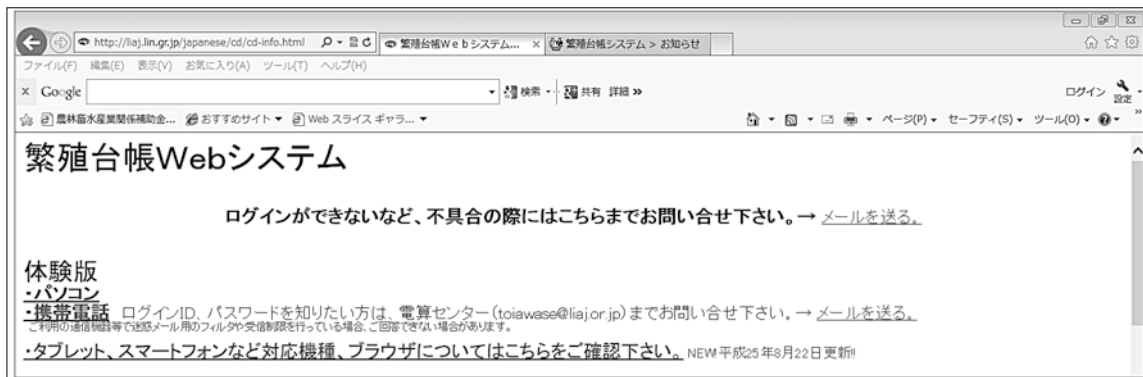
このシステムは、牛群検定加入農家であればインターネットを利用することによって通信料以外は無

料で利用でき、リアルタイムな牛群状態の把握や繁殖改善による収益向上のために是非とも役立てて欲しいシステムです。個体台帳や繁殖カレンダーの作成簡略化のためにも有効であり、これらのためにも牛群検定とセットで利用するメリットがあると思われます。

しかし、未だ広酪管内においては利用実態が少なく、その利便性を幾つかご紹介したいと思います。

【まずは触ってみましょう】

インターネットに接続して(一社)家畜改良事業団の運営するページ <http://liaj.lin.gr.jp/japanese/cd/cd-info.html> にアクセスすると次のページが開きます。



体験版としてパソコン版と携帯電話版がありますが、試しにパソコン版をクリックし、ログインID「D000000002」、農家コード「D000000002」を入力すると以下のような画面に進みます。これで色々なデータを閲覧することができます。



最終的に自分のパスワードをもって、自分のデータを閲覧利用する際には

農家アドレス <https://www.cd.liaj.jp/noka/>

携帯アドレス <https://www.cd.liaj.jp/m/>

にアクセスし、ID・パスワード等を入力すると、最新の検定データを含む情報を利用することができます。

データの更新は、検定後乳量やボディコンディション等の検定結果報告と検定サンプルの成分分析結果の合体後に週2回程度行なわれますので、タイミング次第では相当早く結果が反映されます。